

第5節 芸術・文化の振興と文化財の保護

1 現況と課題

- (1) 生涯学習の浸透と団塊世代の退職を迎え、余暇の増大、心の豊かさを求め、年齢に関係なく芸術、文化活動に対する関心が高まり、ニーズは多様化しています。
- 中央公民館をはじめ各校区センターを中心とした文化協会や町民サークル活動が盛んに行われており、大刀洗町ドリームまつりや芸術祭において、発表や展示を行うなど芸術文化活動を楽しむ町民が増えています。
- (2) 町民の文化活動に対する芸術性や専門性は高まりを見せており、親しみやすい講座の開設、施設整備の充実、指導者の育成など町民のニーズに応えうる施策が求められています。
- (3) 町内には県指定文化財である「西光寺の木造阿弥陀三尊像」、ロマネスク風様式*の二つの塔を持つ「今村カトリック教会」をはじめ、「床島堰」「大堰神社」「三原城址」「大刀洗飛行場跡」などの文化的・歴史的に価値ある資源が緑溢れる豊かな自然の中に点在しています。また、平成10年1月に、国の史跡に指定された奈良時代の地方役所跡の「下高橋官衙遺跡」では、保存・活用に向けての整備を進めています。さらに、伝承芸能として「五庄屋太鼓」「お田植え踊り」など昔から地域に受け継がれてきた数多くの伝統行事・文化が守られており、先人の思いを学び、ふるさと再発見や地域活性化に重要な役割を果たしてきています。

2 基本方針

町内に点在する文化財や史跡などの地域資源を町のシンボルとして保存・活用し、地域に根ざした伝承芸能を次代へ継承することで地域の活性化に努めます。

ホームページなどを活用し、文化・芸術情報を発信するとともに、優れた芸能・芸術に触れ、発表の機会を創出することで、町民主体のサークル活動を支援し、心を豊かにする芸術・文化活動を推進していきます。

③ 施策の内容

(1) 芸術・文化の振興と文化資源の保存・活用

- ①町民の主体的文化活動を促進するため、指導者の養成と文化団体の育成に努め、芸術・文化の向上と内容の充実を図ります。
- ②各種文化サークルの育成に努め、芸術文化活動の振興を図ります。
- ③団体・サークル間の情報交換、交流を支援し、情報を共有することで地域独自の文化活動を支援します。
- ④郷土の伝統芸能の発掘、調査、育成を図り、保存継承に努めます。
- ⑤伝統芸能を伝承する個人・団体の育成に努めます。



(2) 歴史・文化施設などの整備促進

- ①先人が残した出土遺物などや収集資料は年々増加し、埋蔵文化財の調査では全国的に見ても貴重な遺物が出土しており、それらの保存・展示に努めます。
- ②国の史跡に指定された奈良時代の地方役所跡である下高橋官衙遺跡の整備を促進し、観光誘致に努めることで地域の活性化を図ります。

(3) 文化財の保存・活用

- ①埋蔵文化財の発掘調査については、関係者への周知に努め、発掘調査や保存・活用を図ります。
- ②従来、埋蔵文化財がないと考えられていた地区から遺跡が発見されており、更なる文化財分布調査を行い保存に努めます。
- ③町内の名木調査を進め、保護・保存が必要なものについては専門家の協力を得て次代に残していきます。

4 成果指標

内 容	現 状(平成20年度)	中間年次(平成23年度)	目 標(平成30年度)
国・県・町指定文化財数	3件(国1、県2)	7件(国2、県1、町4)	10件(国2、県2、町6)

5 計画事業

- ①文化協会事業
- ②伝承芸能育成
- ③大刀洗町ドリームまつり
- ④埋蔵文化財収蔵施設整備
- ⑤史跡など説明ボランティアの育成
- ⑥小学生文化財レポート募集
- ⑦今村カトリック教会の国指定と創建100周年記念事業

